



## 1 大自然の中でのびのびと 農業を始める

2018年、三重県鈴鹿市にある「小岐須町」にてブルーベリー農園「鈴鹿ブルーベリーガーデン」を開始。2021年には多種野菜の栽培のチャレンジを始め、「野菜類の栽培」と「観光農園」の2つを行ってきました。全員が新規就農者でした。

1



## ジビエの提供ができる 観光農園にしよう

ジビエを活用したバーベキュー場を作るというアイデアが出るまでに時間はかかりませんでした。農園のすぐ近くには「みちひろき」のご神徳のある『猿田彦大神』が祀られる椿大神社があります。観光客が多く訪れるこの場所で、地元の資源を生かした事業を行いたいと考えました。

4

2

## 丁寧に植えた作物を 鹿たちに食べられる

主力商品の1つであるショウガが鹿に食べられれば全滅。芽吹いてきた新芽を、鹿たちが一晩で葉を食べつくして茎だけの状態になったことも…。食事スポットに認定されてしまったからは、さあ大変。闘いの日々が始まりました。防護柵を作りましたが、鹿に蹴り倒されてしまい被害が止むことはありませんでした。



5

## 実現のため クラウドファンディング開始

ジビエ事業の実現のために、野生動物の解体処理施設が必要でした。私たちの敷地内に使っていない建物が一軒あり、ここをジビエの処理施設に改築することで衛生的にジビエを解体、販売をすることが可能です。そこで私たちの事業の認知、ご支援を賜るためクラウドファンディングを2023年夏に実施いたしました。



3

## 狩猟免許取得を決意



被害に悩まされる以前から、山麓であるこの地では予測できない突風や豪雪などの環境に悩まされていたため、農業は無理なのかも…と考えるように。そのとき脳裏に電撃が走ったのです。「そうか！ジビエを始めたらいいんだ！この地で出来ることは目の前にある！」一緒にいたスタッフも「そうしましょう！」とこれまでの苦労もあって背中を押してくれました。



## 目標額を上回るご支援を集め クラウドファンディング達成！

1ヶ月半という期間を駆け抜け地元の方、知人、初めて活動を知っていただいた方と多くの応援とご支援をいただき、念願の解体処理施設が2023年冬に完成しました。関わっていただいた皆様があってこそこの「猿田彦山肉」の誕生です。

ご協力ありがとうございました！

当時の軌跡はこちらから  
ご覧いただけます



6